

北日本医療福祉専門学校 3つのポリシー

1 ディプロマ・ポリシー

「誠実」「実践力」「健康な心と身体」「凛とした心」

・介護福祉科

対象者の尊厳を支えるケア、現場で必要とされる実践的な能力、高い倫理性の保持などこれからの介護ニーズ・政策に対応でき、介護サービスにおける中心的役割を担える人材を育成するために、所定の課程を修めたうえで、次のような目標を達成した者に専門士を授与します。

- (1) 基礎学力の強化に努める一方、発展的学習を心がけ特別講座の設定などを含め、就職と進学等進路の質的向上をはかる。
- (2) 時代の要請に応えるべきグローバルな観点に立ち、海外の先進国に学ぶ「学生海外研修プログラム」を研究し、深めていく。
- (3) HR担任、教科担任、生活指導などの連携で学生理解を深め、学生食堂、売店等の厚生環境を改善し、学生の登校意欲を高め、退学者を出さないようにする。
- (4) 学生の意欲を高めるため、教員相互の共通理解と連携を密にし、学生理解を深めながらきめ細やかな指導に取り組み、社会に貢献する人材を育成する。
- (5) 現代社会に求められる社会人基礎力を養いながら、人間性・基本的生活習慣を育み自己啓発に努め、就職・進学等進路の質的向上を図る。
- (6) 地域社会の実態に応えるべく、介護福祉士を目指す学生募集を強力に進め、介護業界の社会的地位向上とイメージアップに貢献できるよう関係団体等と連携を強める。

・こどもマイスター養成科

家庭及び地域の養育力、教育力の向上のため、より専門的な教育理論に裏付けられた人材構成ならびに子育て支援ができ、更に教育支援・障害児教育における発達などの高度な専門性をもち、子どもの発達理解や子育て・教育等に関する総合的で専門的な視点を持つ人材を育成するために、所定の課程を修めたうえで、次のような目標を達成した者に専門士を授与します。

- (1) 基礎学力の強化に努める一方、発展的学習を心がけ特別講座の設定などを含め、就職と進学等進路の質的向上をはかる。
- (2) 時代の要請に応えるべきグローバルな観点に立ち、海外の先進国に学ぶ「学生海外研修プログラム」を研究し、深めていく。
- (3) HR担任、教科担任、生活指導などの連携で学生理解を深め、学生食堂、売店等の厚生環境を改善し、学生の登校意欲を高め、退学者を出さないようにする。
- (4) 学生の意欲を高めるため、教員相互の共通理解と連携を密にし、学生理解を深めながらきめ細やかな指導に取り組み、社会に貢献する人材を育成する。
- (5) 現代社会に求められる社会人基礎力を養いながら、人間性・基本的生活習慣を育み自己啓発に努め、就職・進学等進路の質的向上を図る。
- (6) こどもマイスター養成科の大学等併修先との連携を図り教育環境の整備を進める。

・薬業科

セルフメディケーションをよく理解し、健康維持増進・病気予防の時代において精神面・身体面の健康を支える使命感を持ち、医薬品・健康食品の知識に基づき気配り、心配りができ地域の健康・維持・増進の一助となれる人材を育成する。

- (1) 基礎学力の強化に努める一方、発展的学習を心がけ特別講座の設定などを含め、就職と進学等進路の質的向上をはかる。
- (2) HR担任、教科担任、生活指導などの連携で学生理解を深め、学生食堂、売店等の厚生環境を改善し、学生の登校意欲を高め、退学者を出さないようにする。
- (3) 学生の意欲を高めるため、教員相互の共通理解と連携を密にし、学生理解を深めながらきめ細やかな指導に取り組み、社会に貢献する人材を育成する。
- (4) 現代社会に求められる社会人基礎力を養いながら、人間性・基本的生活習慣を育み自己啓発に努め、就職・進学等進路の質的向上を図る。
- (5) 薬業科の魅力を積極的に発信するとともに学生募集対策を再検討し、定員充足に努力をする。また、登録販売者試験等の合格率100%達成を目指す。

2 カリキュラム・ポリシー

本校では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講しています。なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように方針を定めます。

(1) 教育内容

必修科目は、基礎的な科目から高度に専門的な課目へと年次進行に即して段階的に配置し、実践的能力を養成するため学内外での多様な実習を行う。また、国家資格等の資格取得を推進します。

(2) 教育方法

教育目標に照らし、講義、演習、実習を適切に組み合わせて実施します。講義科目では新しい知識等を修得し、演習かもく科目では、得られた知識の理解を深め自らの考えをまとめることができる技能を身につけます。

なお、授業時間内外等において学生と教員間の対話を促進し、学生の意見・状況等を反映した授業運営を実施します。

(3) 学修成果の評価

各科目の学習成果の評価は、各科目のシラバスに定める成績評価方法により行います。また、修得した科目及び成績が学校で定める卒業要件を満たしていれば、専門士（介護福祉専門課程、社会福祉専門課程、商業実務専門課程）の称号を授与します。

3 アドミッション・ポリシー

《教育目的》

本校は、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、一般教養の向上と人格の陶冶を図り、専門知識と技能を有した優秀な人材を養成する。このような教育目的のもと、以下のような学生を求めています。

「介護、保育、薬業分野に強い関心があり、技術・知識について学ぶ意欲のある人」

また、そのために、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用います。

【出願の種類】

- ・ AO入試、AO特待入試
- ・ 高校推薦特待入試
- ・ 自己推薦特待入試
- ・ 社会人特待入試
- ・ 一般入試

【選考方法】

- ・ AO入試・一般入試
面接、書類審査
- ・ AO特待入試、高校推薦特待入試、自己推薦特待入試、社会人特待入試
面接、書類審査、筆記試験